

○沼田川源流に位置し豊かな水の恵みが育んできた農業等の暮らしと歴史文化や、こだわった自営業者たちが作り出してきた観光地としての魅力等を基に、「移住定住促進」と「地域所得向上」を目標とした、農村滞在型観光モデルの構築を検討する。

○竹仁協議会が中心的な役割として、地域内の資源の掘り起こしやネットワークの強化を担う。

広島県東広島市



【採択年度】  
平成29年度  
【事業実施期間】  
平成29～30年度

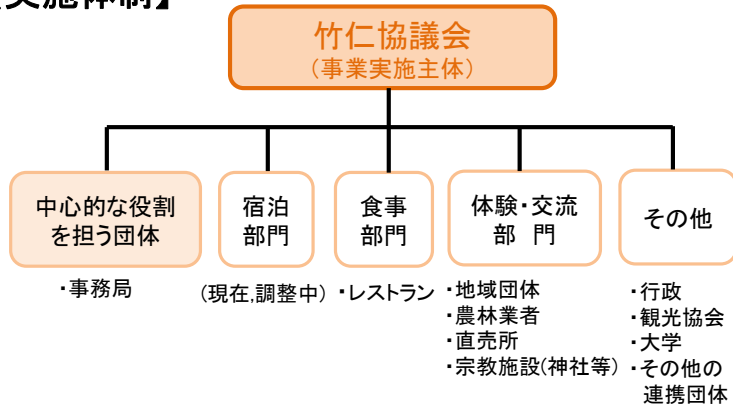


町花ホンシャクナゲ  
(県の天然記念物)



えんがわマルシェ  
(地域内外の交流場)

【実施体制】



【特徴的な取組】

- コミュニティデザインの専門家との協働による地域資源発掘  
(地域住民の「したいこと」「できること」を尊重した体験コンテンツ等開発支援)
- 町内の多世代メンバーによる先進地視察  
(農泊事業の推進に向けたチームビルディング)
- 地域に暮らす「人」に着目したPR冊子の作成  
(人を介して地域の魅力を映し、「行きたくなる」「会いたくなる」冊子づくり)



昔遊び体験



先進地視察



周知のためのチラシ

【取組内容】

(1) 地域資源発掘

コミュニティデザインの専門家とのヒアリング調査や冊子作成に伴う取材等を通じて、50人超の住人たちから「農泊事業に対する思い」等の聞き取りを行ったことで、農泊推進における若い担い手や、体験コンテンツとして提供し得る資源、民泊施設としての提供を検討する住人等を見つけることができた。

(2) 宿泊施設

事業開始時は宿泊業としての提供できる施設は無かったが、住宅宿泊事業法の施行も踏まえ、現在、民泊による提供を検討している住宅が1軒見つかることができた。

(3) 農業体験

町内では農業が主要産業であり、農業体験を重要な体験コンテンツとして考え、より多様な層に働きかけられる手法として、アメリカ発祥のエディブル・スクールヤードを取り入れ、一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパンによる町内向けワークショップを開催した。

(4) 定住人口

様々な取り組みによる成果として、平成29年度は移住に関する問い合わせが増え、実際に5軒15人の移住が決まり、平成30年度は豪雨の被災地であったにも関わらず5軒10人の移住があった。

インバウンド対応状況 (青: 対応)

| Wi-Fi | 洋式トイレ | キャッシュレス | 外国語HP | 外国語案内表示 | 外国語ネット予約 |
|-------|-------|---------|-------|---------|----------|
|       |       |         |       |         |          |